

【ご参考資料】

2015年7月23日



## ニュージーランドの政策金利引き下げについて

### ポイント1 政策金利を3.25%から3.0%へ引き下げ

7月23日、ニュージーランド準備銀行（中央銀行）は、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レート（OFR）を0.25%引き下げ、3.0%とすることを決定しました。

前回会合で、追加利下げが示唆されていたことから、市場予想通り、2会合連続の利下げとなりました。

### ポイント2 追加利下げの可能性を示唆

利下げの背景には、景気見通しの悪化とインフレ圧力の低下があります。主要輸出品である乳製品価格は足元で約6年ぶりの水準まで下落しており、企業の景況感も悪化しています。足元の景気について、同中銀は、「6月会合時よりも、成長見通しがより軟調になった」との認識を示しています。さらに、4-6月期のインフレ率は0.3%と、同中銀が目標とする1~3%を大きく下回りました。

同中銀は、軟調な成長見通しと低インフレをふまえ、現時点では、追加利下げの可能性が高いことを示唆しました。

### ポイント3 利下げ幅が限定的となり、NZドルは上昇

市場の一部では、利下げ幅が0.25%以上になるとの見方もあったことから、7月23日午前8時頃の東京外国為替市場では、対米ドルで前日比0.3%程度、対円で同0.4%程度のNZドル高となっています。

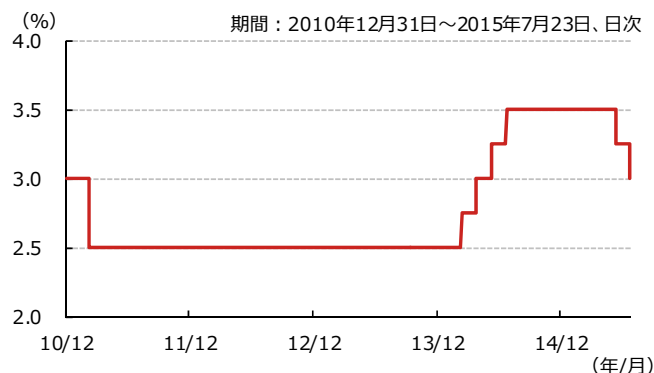
追加の利下げ観測が残ることや、乳製品価格の下落傾向が続いていることなどから、当面のNZドルは対米ドルでの下落圧力がかかりやすいと考えられます。一方、同中銀の見通しによれば、2016年以降は、乳製品価格の緩やかな回復が予想されていることや、先進国の中で相対的に高い金利水準などは、NZドルの下支え要因になると思われます。

### 重要イベント

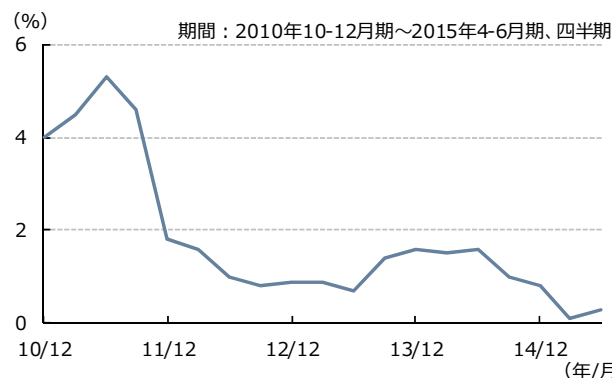
2015年7月24日 貿易収支  
2015年9月10日 金融政策決定会合

重要イベントは現地時間で記載しています。

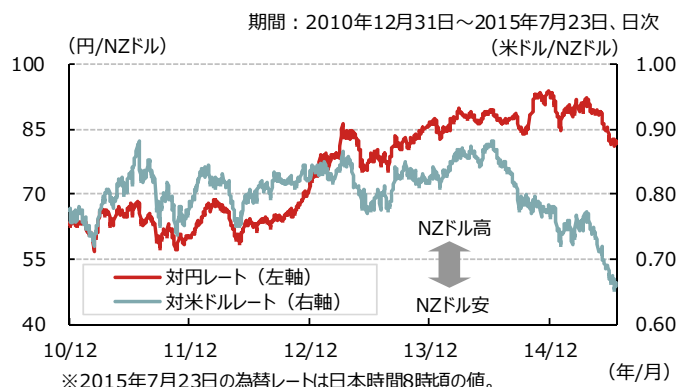
### 【図1】政策金利の推移



### 【図2】消費者物価指数（前年同期比）の推移



### 【図3】為替レートの推移



（出所）Bloombergデータより野村アセットマネジメント作成